

公の施設の指定管理者の指定

公の施設の指定管理者を次のとおり指定しようとする。

名 称	指 定 管 理 者	指定の期間
兵庫県中央労働センター・ 兵庫県立姫路労働会館	神戸市中央区下山手通 6 丁目 3 番 28 号 公益財団法人兵庫県勤労福祉協会・大 林ファシリティーズ株式会社グループ (代表者) 公益財団法人兵庫県勤労福祉協会 理事長 竹村 英樹 (構成員) 大林ファシリティーズ株式会社 取締役常務執行役員大阪支店長 松井 秀雄	令和 6 年 4 月 1 日から 令和 11 年 3 月 31 日まで
	[指定理由] (1) 労使団体等とのネットワークの構築や、労使の参画を得た「ワ ンコインカレッジ」の開催など、勤労者の福祉の向上という施 設の設置目的を踏まえた幅広い提案がなされている。 (2) 夜間 (18 時~21 時) 利用料金の減額による夜間利用の促進、 老朽化した施設の予防保全を基本とする計画的な保守管理の実 施など、課題に応じた適切な提案がなされている。 (3) 現行の指定管理者として、良好な指定管理業務の実績があり、 適切な管理運営が期待できる。	
兵庫県立丹波年輪の里	丹波市柏原町柏原 5600 番地 公益財団法人兵庫丹波の森協会 理事長 酒井 隆明	令和 6 年 4 月 1 日から 令和 11 年 3 月 31 日ま で
	[指定理由] (1) 「アート・クラフトフェスティバル」をはじめとする、地域 団体や行政等と連携した多様なイベントの実施など、施設の効 果的な活用や地域活性化への取組についての適切な提案がなさ れている。 (2) 現行の指定管理者として、良好な指定管理業務の実績があり、 適切な管理運営が期待できる。 (3) 木工講座の開催や、「木とふれあい・木に学び・木と生きる」 木育活動など施設の特徴的な機能を活かした取組が提案されて おり、SNS 等を活用した更なる情報発信の強化、木育活動の拡 大等により、今後も施設の利活用が期待できる。	

令和5年度12月補正予算（緊急経済対策） 【産業労働部】

1 補正予算規模

（単位：百万円）

区 分	提案額	財源内訳			
		国庫	特定	起債	一般
一般会計	3,473	3,427	0	0	46
（参考）県全体の補正予算額	64,282	35,715	2,489	20,631	5,447

施策体系別事業一覧

(単位：百万円)

事業名	金額	国庫			特定	起債	一般
		重点支援 地方交付金	その 補助	他 金			
0 1 県民生活の安定化に向けた支援	2,903	2,903	0	0	0	0	
(1) 物価高騰影響の緩和	2,903	2,903	0	0	0	0	
① 春の新生活「ひょうご家計応援キャンペーン『はばたんPay+』」	2,903	2,903	0	0	0	0	
0 2 県内事業者の経済活動への支援	856	856	0	0	0	0	
(1) 中小企業等への事業継続支援	413	413	0	0	0	0	
① 中小企業経営改善・成長力強化支援事業	400	400	0	0	0	0	
② 地場産業等LPガス価格高騰対策支援事業	13	13	0	0	0	0	
(2) 観光需要の創出	443	443	0	0	0	0	
新① 万博に向けた観光デジタルマーケティングの実施	101	101	0	0	0	0	
新② 観光客の属性・行動分析によるFP等への誘客促進	10	10	0	0	0	0	
拡③ 「ひょうごユニバーサルなお宿」宣言施設へのハード整備支援 ※(注)	(332)	(332)	(0)	(0)	(0)	(0)	
0 3 給与改定への対応	46	0	0	0	0	46	
① 県人事委員会勧告を踏まえた給与改定	46	0	0	0	0	46	
合計	3,805	3,759	0	0	0	46	
※(注) 「ひょうごユニバーサルなお宿」宣言施設へのハード整備支援は、まちづくり部へ予算計上							
合計 (産業労働部)	3,473	3,427	0	0	0	46	

物価高騰影響の緩和

■春の新生活「ひょうご家計応援キャンペーン『はばタンPay+』」：29億円

➤ 物価高騰が継続する中、新年度への準備等が円滑に行えるように、はばタンペイ+（プラス）を活用した**キャンペーン第3弾を実施**

- (1) **対象店舗** スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、飲食店、直売所、商店街の小売店等
- (2) **募集開始** R6.2月〔予定〕
- (3) **利用期間** R6.3月中旬～R6.6月（約3.5ヶ月）〔予定〕

	一般枠
対象者	すべての県民（子育て世帯含む）
販売単価	一口6,250円分を5,000円で販売
プレミアム率	25%
申込上限	1人あたり4口



➤ 携帯電話販売店や市町等と連携し、高齢者などスマホの使い方に不慣れな方へのサポートを実施

中小企業等への事業継続支援

1 中小企業における経営改善・成長力強化への支援：4億円

- 物価高騰等を踏まえた収益性の向上等に向けた支援を切れ目なく実施するため、**金融機関による無利子・無保証料融資（いわゆる、ゼロゼロ融資）を受けた事業者に向けた伴走支援を追加措置**

(1) **事業内容** 事業者への伴走支援※を実施する金融機関に対して補助を実施

〔※金融機関が事業者を選定し、「経営改善・成長戦略計画書」の作成を支援
事業者と面談、計画の実行状況に関する指導・助言等のフォローアップを実施等〕

(2) **支援対象** ゼロゼロ融資を受けた中小企業者・小規模事業者 4,300者

(3) **補助金額** 新規 10万円/件、継続 7.5万円/件

2 地場産業等におけるLPガス価格高騰対策：1,300万円

- 本県地場産業の中でも、**国の燃料油価格激変緩和対策の対象とならないLPガスの使用料について、製造コストに占める割合が特に高い業種の事業者に対して、LPガス価格高騰に対する支援**を追加実施

(1) **対象業種** 粘土かわら製造業、陶磁器・同関連製品製造業（淡路瓦、丹波立杭焼等）

(2) **支援金** LPガス使用量に応じ、最大24万円



観光需要の創出

【新】1 万博に向けたインバウンド観光デジタルマーケティングの実施：1.0億円

- 大阪・関西万博を見据え、**関西圏への旅行を検討している外国人観光客を確実に取り込むため、デジタルマーケティングによる誘客促進策を展開**

(1) 海外OTA(Online Travel Agent)の活用

- ・ サイト内に本県特集ページを作成し、サイト内バナー広告配信等の流入施策を実施
- ・ 訪日外国人旅行者が県内宿泊施設に宿泊する際の割引クーポンを配布

(2) 有力メディア・SNS等の活用

- ・ 海外有力メディアへの記事掲載
- ・ 海外デジタル広告プラットフォームによるターゲティング広告の配信



【新】2 観光客の属性・行動分析によるFP等への誘客促進：1,000万円

- フィールドパビリオン等へのより効果的な誘客や観光客の県内での周遊を促進する施策展開を図るため、**人流データの活用による観光客の属性・行動分析を実施**

○実施内容

誘客促進

デジタルスタンプラリー開催
(フィールドパビリオン、温泉地等)

分析

- ・ 観光時のGPSログの取得・分析
- ・ SNS投稿を通じた旅の印象分析

活用例

- ・ 地域の魅力向上策、オーバーツーリズム対策の検討
- ・ 交通手段改善策の検討
- ・ 地域のインフルエンサーの発掘

【参考】まちづくり部予算計上

【拡】 3 「ひょうごユニバーサルなお宿」宣言施設へのハード整備支援：3.3億円

➤ ユニバーサルツーリズム（UT）の推進に向けた宿泊施設の取組を促進するため、**宣言を行った施設に対するバリアフリー改修支援の予算額を拡充**

- (1) **対象施設** UT取組宣言を行った旅館・ホテル等の宿泊施設
- (2) **補助要件** 福祉のまちづくり条例に規定する特定施設整備基準と同等以上のバリアフリー化等（高齢者等の利用に配慮した段差解消や間口の一定寸法の確保等）
- (3) **対象設備** エレベーター、出入口、スロープ等
- (4) **負担割合** **県1/2、事業者1/2**（通常負担割合：県1/4、市町1/4、事業者1/2）
〔万博までの2年間（R5～R6）を重点期間として県負担割合を拡充〕
- (5) **補助上限**

対象		補助上限
設計		250万円
工事	EVあり	1,800万円
	EVなし	800万円
	EVのみ	1,000万円

「ひょうごユニバーサルなお宿」宣言施設（目標：100施設）

- ①チェックリスト（73項目）で自施設の取組状況をチェック（結果を発信）
- ②高齢者等に配慮した従業員向け接客研修の実施又はUTおもてなし研修の受講

35項目以上の施設

登録施設として、兵庫県公式観光サイト「HYOGOナビ」で見える化

